

# 2007年 電炉鋼材フォーラム

開催時間： 午後1時15分～5時

参加費： 無料

東京(10/23) 大阪(10/31) 名古屋(11/13)のプログラム

・各社製品パンフレットの展示・配布を各会場で行います。

13:15-13:25

## 開会あいさつ

13:25-14:00 発表30分 + 質問時間5分

## 最近の電炉鋼材の概況

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会

14:00-14:45 講演40分 + 質問時間5分

講演

## 中国鉄鋼業の成長と再編成

東北大学 大学院経済学研究科 教授 川端 望 殿

14:45-15:00 15分

コーヒーブレイク

15:00-15:25 発表20分 + 質問時間5分

## H形鋼の性能厳格化要求とその対応について

普通鋼電炉工業会 形鋼技術委員会

15:25-16:10 講演40分 + 質問時間5分

講演

## 高強度鉄筋の性能と鉄筋継手の品質管理について

元(株)フジタ 技術研究所 主席研究員 吉野 次彦 殿

16:10-16:55 講演40分 + 質問時間5分

講演

## 鉄スクラップ価格の現状と取り巻く需給環境

(株)鉄リサイクリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一 殿

16:55-17:00

## 閉会あいさつ

# 2007年 電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

## 東京会場プログラム

開催日場所 開催時間：午後1時15分～5時

参加費：無料

19年10月23日(火)	東京	経団連会館 経団連ホール	東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館14階	tel 03-5204-1500
--------------	----	--------------	-----------------------------	------------------

・パンフレット展示 経団連ホール ラウンジ

申込み先：普通鋼電炉工業会 TEL03-5640-1122 FAX03-5640-1125 普電工 ホームページ <http://www.fudenkou.jp>

13:15-13:25

### 開会あいさつ

普通鋼電炉工業会 副会長 (株)向山工場 社長 向山 勝

13:25-14:00 発表30分 + 質問時間5分

### 最近の電炉鋼材の概況

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会 共英製鋼(株) 執行役員 生産企画部長 武田 英

電炉鋼材は、貴重な資源である鉄スクラップをリサイクルして生産されます。鉄スクラップは厳格な管理のもとで、環境負荷の少ない電気炉製鋼により、クリーンな新たな鋼として生産されます。電炉鋼は、わが国の粗鋼生産量の約4分の1を占め、その主要生産品種である鉄筋棒鋼、一般形鋼、H形鋼、平鋼、厚鋼板などとして、建設分野を中心に幅広く使用されています。本報では、最近の生産技術の進歩、品質管理、普通鋼電炉業の特徴、鋼材製品についてご説明いたします。

14:00-14:45 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 中国鉄鋼業の成長と再編成

東北大学 大学院経済学研究科 教授 川端 望 殿

急速に成長する中国鉄鋼業。中国は、1996年以降、世界最大の粗鋼生産国であり、2006年の粗鋼生産は約4億2000万トンに達した。いまや、世界の鉄鋼の3分の1は中国一国で生産されている。市場規模もまた約4億5000万トンに達している。しかし、設備効率や環境問題など、様々な問題を抱えていることも事実である。

中国鉄鋼業の到達点をどのように評価すべきなのか。鉄鋼の需要と生産のあり方は、日本のそれとはどのように異なっているのか。市場経済化と対外開放のもとで、国有企業の経営はどう変わっているのか。政府の政策は業界にどれほどの影響を与えているのか。業界の再編成と企業統合は、中国鉄鋼業の競争力を強化するのか。講演では、これらの論点について検討したい。

14:45-15:00 15分

コーヒーブレイク

15:00-15:25 発表20分 + 質問時間5分

### H形鋼の性能厳格化要求とその対応について

普通鋼電炉工業会 形鋼技術委員会 JFE 条鋼(株) 技術部 主任部員 大熊 剛

地震国のわが国において、最近の大型地震の多発に伴い建築構造物の耐震性に関する国民の関心が益々高まっている。このような中、鋼構造に関する需要業界からは、従来以上に鋼構造の信頼性確保に向けた建築構造用鋼材の品質に対する種々の改善要望が出されている。これらの改善要望に対し昨年秋、「日本鉄鋼連盟」において、建築構造用鋼材の品質信頼性確保に向けた鋼材メーカーとしての対応の方向性が示された。当、「普通鋼電炉工業会」もこの方向性に強く賛同し、自主管理を前提とした品質管理活動に取り組んでいる。本報は、建築構造用鋼材の主流である「H形鋼」の製造現場における品質管理活動状況とその実績について、ご報告いたします。

15:25-16:10 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 高強度鉄筋の性能と鉄筋継手の品質管理について

元(株)フジタ 技術研究所 主席研究員 吉野 次彦 殿

最近、鉄筋コンクリート造による超高層構造物の施工が多くなり、使用する鉄筋も太径鉄筋、高強度鉄筋の使用が多くなっています。一方、鉄筋工事においては、鉄筋の継手も重要な工事です。鉄筋コンクリート構造の性能は鉄筋の性能のみではなく、継手の性能にも大きく影響されます。鉄筋工事においては、特に鉄筋継手の品質管理が重要となります。そこで、鉄筋、特に高強度鉄筋や鉄筋継手の品質管理と最近の鉄筋継手の動向について紹介いたします。

16:10-16:55 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 鉄スクラップ価格の現状と取り巻く需給環境

(株)鉄リサイクリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一 殿

2006年の鉄スクラップ価格は、年間を通じて上昇トレンドで推移した。07年に入り5～6月に一時下降局面となったが、7月以降再び上昇傾向となっている。このような価格上昇は世界の鉄鋼生産動向と無縁ではない。06年の世界粗鋼生産量は12億4,000万tとなったが、うち鉄スクラップを主原料とする電炉粗鋼は約4億t(32.1%)を占める。転炉分を加えると約4億8,000万tの鉄スクラップが使用されたと推計される。今や鉄鋼生産において鉄スクラップは欠くことの出来ない鉄源として役割を担っているが、その世界流通をみると、発展途上国では発生が少ないため、先進国から発途国へ流通が進んでいる。存在する地域間需給ギャップが価格高騰に繋がっている。こうした状況について説明いたします。

16:55-17:00

### 閉会あいさつ

東京鉄鋼(株) 執行役員 品質保証部長 小林 賢治

# 2007年 電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

## 大阪会場プログラム

開催日場所 開催時間：午後1時15分～5時

参加費：無料

19年10月31日(水)	大阪	大阪科学技術センター 大ホール	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター8階	tel 06-6443-5324
--------------	----	-----------------	----------------------------------	------------------

・パンフレット展示 大阪科学技術センター 小ホール

申込み先：普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125 普電工 ホームページ <http://www.fudenkou.jp>

13:15-13:25

### 開会あいさつ

普通鋼電炉工業会 理事 住金スチール(株) 社長 家城 保雄

13:25-14:00 発表30分 + 質問時間5分

### 最近の電炉鋼材の概況

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会 共英製鋼(株) 執行役員 生産企画部長 武田 英

電炉鋼材は、貴重な資源である鉄スクラップをリサイクルして生産されます。鉄スクラップは厳格な管理のもとで、環境負荷の少ない電気炉製鋼により、クリーンな新たな鋼として生産されます。電炉鋼は、わが国の粗鋼生産量の約4分の1を占め、その主要生産品種である鉄筋棒鋼、一般形鋼、H形鋼、平鋼、厚鋼板などとして、建設分野を中心に幅広く使用されています。本報では、最近の生産技術の進歩、品質管理、普通鋼電炉業の特徴、鋼材製品についてご説明いたします。

14:00-14:45 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 中国鉄鋼業の成長と再編成

東北大学 大学院経済学研究科 教授 川端 望 殿

急速に成長する中国鉄鋼業。中国は、1996年以降、世界最大の粗鋼生産国であり、2006年の粗鋼生産は約4億2000万トンに達した。いまや、世界の鉄鋼の3分の1は中国一国で生産されている。市場規模もまた約4億5000万トンに達している。しかし、設備効率や環境問題など、様々な問題を抱えていることも事実である。

中国鉄鋼業の到達点をどのように評価すべきなのか。鉄鋼の需要と生産のあり方は、日本のそれとはどのように異なっているのか。市場経済化と対外開放のもとで、国有企業の経営はどう変わっているのか。政府の政策は業界にどれほどの影響を与えているのか。業界の再編成と企業統合は、中国鉄鋼業の競争力を強化するのか。講演では、これらの論点について検討したい。

14:45-15:00 15分

コーヒーブレイク

15:00-15:25 発表20分 + 質問時間5分

### H形鋼の性能厳格化要求とその対応について

普通鋼電炉工業会 形鋼技術委員会 合同製鉄(株) 企画部技術総括グループリーダー 森満 隆

地震国のわが国において、最近の大型地震の多発に伴い建築構造物の耐震性に関する国民の関心が益々高まっている。このような中、鋼構造に関わる需要業界からは、従来以上に鋼構造の信頼性確保に向けた建築構造用鋼材の品質に対する種々の改善要望が出されている。これらの改善要望に対し昨年秋、「日本鉄鋼連盟」において、建築構造用鋼材の品質信頼性確保に向けた鋼材メーカーとしての対応の方向性が示された。当、「普通鋼電炉工業会」もこの方向性に強く賛同し、自主管理を前提とした品質管理活動に取り組んでいる。本報は、建築構造用鋼材の主流である「H形鋼」の製造現場における品質管理活動状況とその実績について、ご報告いたします。

15:25-16:10 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 高強度鉄筋の性能と鉄筋継手の品質管理について

(株)フジタ 技術研究所 主席研究員 吉野 次彦 殿

最近、鉄筋コンクリート造による超高層構造物の施工が多くなり、使用する鉄筋も太径鉄筋、高強度鉄筋の使用が多くなっています。一方、鉄筋工事においては、鉄筋の継手も重要な工事です。鉄筋コンクリート構造の性能は鉄筋の性能のみではなく、継手の性能にも大きく影響されます。鉄筋工事においては、特に鉄筋継手の品質管理が重要となります。そこで、鉄筋、特に高強度鉄筋や鉄筋継手の品質管理と最近の鉄筋継手の動向について紹介します。

16:10-16:55 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 鉄スクラップ価格の現状と取り巻く需給環境

(株)鉄リサイクリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一 殿

2006年の鉄スクラップ価格は、年間を通じて上昇トレンドで推移した。07年に入り5～6月に一時下降局面となったが、7月以降再び上昇傾向となっている。このような価格上昇は世界の鉄鋼生産動向と無縁ではない。06年の世界粗鋼生産量は12億4,000万tとなったが、うち鉄スクラップを主原料とする電炉粗鋼は約4億t(32.1%)を占める。転炉分を加えると約4億8,000万tの鉄スクラップが使用されたと推計される。今や鉄鋼生産において鉄スクラップは欠くことの出来ない鉄源として役割を担っているが、その世界流通をみると、発展途上国では発生が少ないため、先進国から発途国へ流通が進んでいる。存在する地域間需給ギャップが価格高騰に繋がっている。こうした状況について説明いたします。

16:55-17:00

### 閉会あいさつ

大阪製鉄(株) 参与 一木 清治



# 2007年電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

## 名古屋会場プログラム

開催日場所 開催時間：午後1時15分～5時

参加費：無料

19年11月13日(火)	名古屋	愛知厚生年金会館(ウェルシティなごや)鳳凰の間	愛知県名古屋市千種区池下2-63 愛知厚生年金会館 地下1階	tel 052-761-4181
--------------	-----	-------------------------	-----------------------------------	------------------

・パンフレット展示 愛知厚生年金会館 鳳凰の間

申込み先：普通鋼電炉工業会 TEL03-5640-1122 FAX 03-5640-1125

普通鋼 ホームページ <http://www.fudenkou.jp>

13:15-13:25

### 開会あいさつ

普通鋼電炉工業会 理事 山口鋼業(株) 社長 山口 浩之介

13:25-14:00 発表30分 + 質問時間5分

### 最近の電炉鋼材の概況

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会 中部鋼鉄(株) 技術部長 村山 敬司

電炉鋼材は、貴重な資源である鉄スクラップをリサイクルして生産されます。鉄スクラップは厳格な管理のもとで、環境負荷の少ない電炉製鋼により、クリーンな新たな鋼として生産されます。電炉鋼は、わが国の粗鋼生産量の約4分の1を占め、その主要生産品種である鉄筋棒鋼、一般形鋼、H形鋼、平鋼、厚鋼板などとして、建設分野を中心に幅広く使用されています。本報では、最近の生産技術の進歩、品質管理、普通鋼電炉業の特徴、鋼材製品についてご説明いたします。

14:00-14:45 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 中国鉄鋼業の成長と再編成

東北大学 大学院経済学研究科 教授 川端 望 殿

急速に成長する中国鉄鋼業。中国は、1996年以降、世界最大の粗鋼生産国であり、2006年の粗鋼生産は約4億2000万トンに達した。いまや、世界の鉄鋼の3分の1は中国一国で生産されている。市場規模もまた約4億5000万トンに達している。しかし、設備効率や環境問題など、様々な問題を抱えていることも事実である。

中国鉄鋼業の到達点をどのように評価すべきなのか。鉄鋼の需要と生産のあり方は、日本のそれとはどのように異なっているのか。市場経済化と対外開放のもとで、国有企業の経営はどう変わっているのか。政府の政策は業界にどれほどの影響を与えているのか。業界の再編成と企業統合は、中国鉄鋼業の競争力を強化するのか。講演では、これらの論点について検討したい。

14:45-15:00 15分

コーヒーブレイク

15:00-15:25 発表20分 + 質問時間5分

### H形鋼の性能厳格化要求とその対応について

普通鋼電炉工業会 形鋼技術委員会 トピー工業(株) 開発技術部 品質保証グループ長 原田 公

地震国わが国において、最近の大型地震の多発に伴い建築構造物の耐震性に関する国民の関心が益々高まっている。このような中、鋼構造に関わる需要業界からは、従来以上に鋼構造の信頼性確保に向けた建築構造用鋼材の品質に対する種々の改善要望が出されている。これらの改善要望に対し昨年秋、「日本鉄鋼連盟」において、建築構造用鋼材の品質信頼性確保に向けた鋼材メーカーとしての対応の方向性が示された。当、「普通鋼電炉工業会」もこの方向性に強く賛同し、自主管理を前提とした品質管理活動に取り組んでいる。本報は、建築構造用鋼材の主流である「H形鋼」の製造現場における品質管理活動状況とその実績について、ご報告いたします。

15:25-16:10 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 高強度鉄筋の性能と鉄筋継手の品質管理について

元(株)フジタ 技術研究所 主席研究員 吉野 次彦 殿

最近、鉄筋コンクリート造による超高層構造物の施工が多くなり、使用する鉄筋も太径鉄筋、高強度鉄筋の使用が多くなっています。一方、鉄筋工事においては、鉄筋の継手も重要な工事です。鉄筋コンクリート構造の性能は鉄筋の性能のみではなく、継手の性能にも大きく影響されます。鉄筋工事においては、特に鉄筋継手の品質管理が重要となります。そこで、鉄筋、特に高強度鉄筋や鉄筋継手の品質管理と最近の鉄筋継手の動向について紹介します。

16:10-16:55 講演40分 + 質問時間5分

講演

### 鉄スクラップ価格の現状と取り巻く需給環境

(株)鉄リサイクリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一 殿

2006年の鉄スクラップ価格は、年間を通じて上昇トレンドで推移した。07年に入り5～6月に一時下降局面となったが、7月以降再び上昇傾向となっている。このような価格上昇は世界の鉄鋼生産動向と無縁ではない。06年の世界粗鋼生産量は12億4,000万tとなったが、うち鉄スクラップを主原料とする電炉粗鋼は約4億t(32.1%)を占める。転炉分を加えると約4億8,000万tの鉄スクラップが使用されたと推計される。今や鉄鋼生産において鉄スクラップは欠くことの出来ない鉄源として役割を担っているが、その世界流通をみると、発展途上国では発生が少ないため、先進国から発途国へ流通が進んでいる。存在する地域間需給ギャップが価格高騰に繋がっている。こうした状況について説明いたします。

16:55-17:00

### 閉会あいさつ

共英製鋼(株) 執行役員 名古屋事業所 製造部担当 平岩 治雄